

令和2年度NPO活動推進補助金 活動報告書

事業名	オンライン配信型自然観察会事業
団体名	特定非営利活動法人グリーンシティ福岡
法人設立年月	平成15年9月
団体の目的	<p>本法人は、豊かな緑、咲き乱れる花々、澄んだ水、鳥のさえずりを都市の中にもたらし新しい都市形態を提唱していく。都市の中に豊かな緑地を持ち、自然に親しみながら人間らしい暮らしが営める空間を創出するため、伝統的な匠の技術、緑化に関する新技術を地域に広く普及させるための緑化推進事業の実施、緑化、造園に関する研究調査、広く市民と協働して行う環境教育や国際交流のための事業を実施することで、自然環境や地域環境の保全及びそれを担う人材をつくることを目的とする。</p>
主な活動	<p>(定款に定めた事業のうち、活動頻度が高いもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然環境や地域資源を生かしたまちづくり事業の企画・運営事業 ○緑化・造園に関する技術研究会・講習会等の事業 ○環境教育に関するプログラム立案・研修会・講演会等の事業
補助事業の概要	<p>(事業を実施した背景、事業内容、成果、次年度以降の展望)</p> <p><背景></p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大による自粛要請や休校により子どもたちは屋外遊びの機会が減り、その保護者も過ごし方に悩んだり、時にはストレスを受けたりしている場合もある。一方、自然体験や環境教育等に携わる団体や施設等では対面型のイベントを開催できず苦慮しているところもある。</p> <p><事業内容></p> <p>1 オンライン配信型自然観察会「ZOOM de かんさつ会」</p> <p>身近な公園・緑地や道端等をフィールドに週2回のペースで開催した。オンライン会議ツール「Zoom」を使用し、配信機材を持った現地スタッフが撮影及び解説、別のスタッフがリモートで進行や機器の操作を行った。参加者との双方向のやりとりを行いながら毎回約1時間程度実施した。</p> <p>■実施日程</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月22日(金) 第9回「クラウンシャイネス」 5月27日(水) 第10回「里のいきものさんぽ～べにばなさかう～」 5月29日(金) 第11回「葉っぱを5種類くらべる」 6月3日(水) 第12回「カタツムリ探しさんぽ ～むぎのときいたる～」 6月6日(土) 第13回「道ばたのちっちゃな花2」 6月10日(水) 第14回「里の生きものさんぽ ～かまきりしょうず～」 6月13日(土) 第15回「三浦さんと歩く」 6月17日(水) 第16回「カタツムリ探しさんぽ2 ～うめのみきばむ～」 6月20日(土) 第17回「ダンゴムシとあそぼう」

6月24日（水）第18回「夜の生きもの～なつかれくさかるる～」

6月27日（土）第19回「はがきスペシャル」

※実施内容は別紙参照

■対象者

福岡市内に在住、または通勤通学している親子、大人、活動団体等

福岡市外に在住する親子、大人、活動団体等

■参加者数

のべ376組、そのうち中学生以下は94組

■実施場所

福岡市内の公園、緑地、神社、道端、河川敷

2 ノウハウ冊子の作成

オンライン観察会のノウハウをまとめた冊子「オンライン観察会はじめてガイド～グリーンシティ福岡の実践から～」を作成し、申込者に対して配布した。

さらにFacebookやメールマガジン等で告知を行い、環境教育に携わる関係団体、個人へはこちらからデータを直接メールで送付した。



■配布数

234件（R3. 5. 24現在）

<成果>

1 オンライン配信型自然観察会「ZOOM de かんさつ会」

「ZOOM de かんさつ会」には、毎回およそ20人前後が参加し、そのうち6割程度をリピーターが占めた。休校中の小学生の参加者は、図鑑や飼っている生きものを手に質問や意見等を積極的に発言していた。大人の参加者もチャットを使った質問や感想、時には専門用語のフォローなども積極的に行っていた。

参加者層は主に「幼児や小学生と親世代」「50～60代の一般参加者」「自団体の活動への参考を目的とした30～40代の職員」で、福岡市を中心に全国様々な地域からの

参加があった。福岡市内からはこれまで弊団体の通常のイベントに参加経験のある方が多かった。

アンケートでも下記のような回答があった。休校や自粛期間中の親子や自然好きの皆さんに楽しい時間を提供できた他、身近な自然の楽しみ方をお伝えすることができたと考える。

- ・いつも丁寧に声を拾ってくださり、ありがとうございます。とても喜んでいきます。終わった後も、何か言いたいと(笑)、最後まで残っています。観察会終了直後、家を飛び出し、5分後には近所から取ってきたケシの種で遊んでいました(笑)
- ・映像で生き物を伝えるというだけなら、「ダーウィンが来た」のようなきれいな画像のものがいくらでもあるわけですが、スタッフや講師の皆様と共感しながら時間を共有することで、映像でもワクワク感が生まれるというのが発見でした！それを画面でうまく伝えるのはなかなか難しいと思いますが、皆様の笑顔や上手な写し方でとても入り込みやすかったです。ありがとうございました！
- ・お出かけもままならない中で、唯一ともいえる楽しみでした。通常なら子供に混じっての観察会で、大人は遠慮しながら参加する事になりますが、画面上だとしっかり観察できるのがよかったです。
- ・コロナの時期で 気が消沈していましたが この観察会のおかげで生きる元気をもらえました。

2 ノウハウ冊子の作成

自然体験や環境教育等に携わる団体や施設等に対し、コロナ禍における事業の選択肢を提案することができた。

■ 申込み団体 (抜粋)

NPO birth、高知県(環境共生課)、大阪自然環境保全協会、海の中道管理センター、ドネルモ、日本自然保護協会、NPO法人もりの学舎自然学校、自然教育研究センター、福岡県保健環境研究所、日本NPOセンター、樹木・環境ネットワーク協会、NPO法人森づくりフォーラム、自然環境復元協会ほか

■ はじめてガイドの用途 (抜粋)

- ・ビーチクリーンアップの手法を県内に広めたいと思っており、マニュアルづくりや動画配信の準備をしております。その際に参考にさせていただきたいと思っています。
- ・学校等への講師の紹介・派遣等の環境学習支援活動で活用したいと思います。具体的には、オンライン化の支援を必要としている環境学習講師や団体のサポートをするための参考にさせていただきたく、貴団体の事例に学びたいと思っています。
- ・コロナの影響でガイドウォークなどの環境教育イベントの実施が難しくなり、どうにか場作りができないかと考えていたところ、オンライン観察会を見つけました。都市公園でオンライン観察会を行い、身近な自然の魅力を伝えていきたいと思っています。

■ダウンロード後の感想（抜粋）

- ・誰でもすぐにはじめることができるように全て網羅されているような丁寧なマニュアルで、感動しました！！
- ・ZOOM運営はもちろん、インタープリテーションについてもたいへん参考になる内容でした。
- ・試行錯誤しながら得られたノウハウの蓄積、またそれを惜しみなく共有してくださることに大変感銘を受けました。

<次年度以降の展望>

当事業により、これまで全くの未経験だったオンラインイベントの技術を習得することができた。この技術は新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する現状では、様々な体験プログラムやワークショップ、研修などへの応用が期待される。自然学校やNPO、教育施設等での活用のため「オンライン観察会はじめてガイド」の無償配布を継続しつつ、関連講座を実施する等により技術の普及に努めたい。

また、その技術を深める方向としては、オンライン参加者と現地参加者の両方が存在する場づくりが考えられる。大きな設備投資をせずに、現地会場の定員を減らしつつオンライン参加を受け入れるイベント等が実施できるような仕組みや技術を検討・開発していきたい。

なお、「ZOOM de かんさつ会」は自主事業として不定期で実施していく。継続の課題は“運営スタッフ数の低減”で、これまで撮影、機器操作、司会進行、チャット操作と4人で運営してきたが、他団体ではそんなにマンパワーを掛けられないという声もあった。それぞれの役割のタスクを精査し、運営のスリム化を図ることにチャレンジしたい。

補足(1)上記項目を満たしていれば、本様式以外を使用しても構いません。別紙記載例を参照してください。パワーポイント等で作成される場合は、10ページ以内とします。

(2)活動写真を2、3枚程度添付してください。

(3)この報告書は、市ホームページに掲載するとともに、寄付者に送付している活動報告書を作成する際に活用させていただきます。